

平成 27 年（2015 年）2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（2 日目）

平成 27 年 2 月 23 日（月）

割当時間（答弁を除く）	自民党	30 分
	社民党	25 分
	ひやみかち那覇・	
	無所属の会	25 分
	無所属の会	20 分
	なは民主	20 分
	社大党	20 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	久 高 友 弘 (自 民 党)	1 市長の政治 姿勢について	(1) 市長選の公約である大型 M I C E の誘致に向け、いつまでに「軍港の共同使用」を確約しなければいけないか伺う (2) 2013 年 11 月以来、開かれていない「県都那覇市の振興に関する協議会」をいつまでに開催できるか伺う (3) 市長は施政方針の中で那覇軍港の跡地利用については、地主会との連携により跡地利用計画づくりに向けた方向性の整理に取り組みますとしている。跡地利用は軍港が移転しないと出来ないわけだが、それではいつまでに軍港を移転させる考えか伺う (4) 那覇軍港の返還については、日米特別行動委員会（S A C O）の移設条件付きの合意がある中で共同使用出来る方法があるのか。あれば教えていただきたい (5) 先日の新聞報道によると、宜野湾市の佐喜真市長が世界一危険な普天間基地の移設問題に関し、5 年以内の運用停止と移設先については、早期の危険性除去のために県内移設も否定しないと正式に表明された。そこで市長に伺う。佐喜真市長の苦渋の決断を基地を抱える地元の市長としては仕方がない決断と考えるか、それとも県外を主張していくべきだと考えるか、市長の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 那覇市が住民から提訴された事件	現在、那覇市が住民から提訴されている事件と理由を伺う
		3 観光資源について	(1) 平成18年12月の那覇市議会において御茶屋御殿の早期復元整備を求める意見書が全会一致で可決された。その後の当局の取り組みについて伺う (2) 弁ヶ獄の大獄復元の進捗状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	金 城 敏 雄 (自 民 党)	保育行政について	(1) 前市長も城間市長も、待機児童ゼロを目標・公約にしていたが、昨年度から本市の待機児童は 1 人も解消できていない状況にある。平成 27 年度における本市の待機児童ゼロに向けた解消計画と今後の取り組みについて伺う (2) 那覇市における保育士の待遇について、保育士の皆様から「仕事と割りに合わない」という切実な声が多く上がっている 待機児童をゼロにするためには、保育士や現場で働く皆様へのサポートを推進すべきである 今後の待機児童解消計画に伴う、保育士の確保と待遇向上への取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	奥 間 亮 (自 民 党)	福祉行政について	(１) 第 6 次なほ高齢者プランの策定を前提にした、新たに実施予定の事業が、平成 27 年度当初予算にはほとんど反映されておらず、同プランを基にした本市の福祉施策の遅れが懸念される 今後本市が実施する新たな取り組みについて伺う (２) 全国に比べて、本市は認知症の方々の割合が高いという数値があり、これまでの本市の認知症対策は不十分であったと言わざるを得ない これから新たに実施する本市の認知症対策について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	多和田 栄子 (社 民 党)	1 市長の政治姿勢について 2 公立幼稚園の認定こども園移行について	県都初、那覇市女性市長誕生として、多くの市民がその決断と政治折衝、手腕を期待している。積極的な施策を切望するものである。そこで市長の政治姿勢を伺う (1) 名護市辺野古への新基地建設作業が 2014 年 7 月から始まった。県民の圧倒的民意を踏みにじり、陸で機動隊員が、海で海上保安官が、反対する市民を暴力的に排除、12 人以上のけが人がでている。このことについて市長の見解を求める (2) 4 月から旧新都心銘苅庁舎に「なは市民協働プラザ」がスタートするとのことである。その設置の趣旨、目的について伺う 新聞報道で、本市が 16 年度から待機児童を解消するという理由で、公立幼稚園を「認定こども園」に移行することを検討しているとの報道がある。それは事実か、以下伺う (1) 公立幼稚園の認定こども園移行が、なぜ待機児童の受け皿としての拡大につながるのか (2) 27 年度からスタートする子ども子育て支援制度は保育の量の拡大と保育の質の保障とある。このことと幼稚園の認定こども園移行との整合性はあるのか (3) 本市のホームページにおいて、子ども子育て支援事業計画の素案が出されている。そのことについて、保護者と現場教師を交えた議論はされたのか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	下 地 敏 男 (社 民 党)	1 平和行政について	市民の圧倒的な支持を得て誕生した城間市長の 2015 年度施政方針が示された 冒頭に教育現場で培ってきた人材育成力を市政運営に活かしていく決意が示されており、さらに（時代を担う人づくり）として教育的重要性のある自己肯定感を育むことで時代を担う質の高い人材の育成に力を尽くしていくとある。平和については（輝きを未来につなぐ）には平和こそが沖縄の発展の礎であり、子や孫が生きる未来を共有し取り組むと述べている。城間市長誕生の背景には辺野古や普天間の基地問題など沖縄の厳しい現状の解決に立ち向かうことにあった。以下質問する (1) 政府の強行する辺野古新基地建設について見解を伺う (2) 仮設栈橋の着工について見解を伺う (3) アンカー大型コンクリートブロック投入について見解を伺う (4) 区域外岩礁破碎について見解を伺う (5) 海上保安庁の過剰警備について見解を伺う (6) 海兵隊報道官の辺野古新基地建設抗議行動に対する発言について
		2 沖縄電力の株式について	2015 年度歳入の財産運用収入で株式配当がある。沖縄電力の配当額等について伺う
		3 福祉行政について	国が進める「認知症施策推進総合戦略」に基づく本市の認知症対策について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	屋 良 栄 作 (ひやみかち那覇・無所属の会)	1 L R T の導 入について	(1) 施政方針の中で、L R T などの公共交通システムの導入について検討を進めるとのことだが、今後どのように進めていく考えか伺う (2) バイパス道路の建設により、交通量が軽減される国道 329 号の那覇ー与那原間において、L R T の早期実現を目指すべきと考えるが見解を伺う
		2 小中一貫教 育について	(1) 施政方針の中で順次、小中一貫教育を導入することのことだが、今後どのように進めていく考えか伺う (2) 本年度の全国学力テストの成績結果と、小中一貫教育との関連性(因果関係)をどのように考えているか伺う (3) 導入目的の一つである、いわゆる中1ギャップの解消には、しっかりとつながっているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	瀬 長 清 (ひやみかち那覇・無所属の会)	市民文化行政について	なは市民協働大学並びに（仮称）なは市民協働大学院の内容と長寿大学校への取り組みについて 高齢者の生きがい、健康づくりと社会参加促進を図るため、沖縄県においては、平成 3 年から沖縄県かりゆし長寿大学が開設され、那覇市においては協働のまちづくりを推進するため、平成 21 年からなは市民大学、平成 22 年からは、「なは市民協働大学」が開催され、平成 27 年度には新たに（仮称）なは市民協働大学院が開講されようとしている 私は、沖縄県かりゆし長寿大学に入りたいくても入れない現状をどう打開していくか考える必要があると思うが、当局の所見を求める (1) 那覇市は、沖縄県かりゆし長寿大学校の内容及び同大学校に多くの那覇市民が応募しても入れない現状をどう認識しているか (2) 那覇市で長寿大学校の開設を検討することについて見解を求める (3) なは市民協働大学の内容と年度別応募状況はどうなっているか (4) なは市民協働大学を卒業した人のその後の活動状況はどうなっているか (5) （仮称）なは市民協働大学院のねらいと具体的な内容について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	坂 井 浩 二 (ひやみかち那覇・無所属の会)	1 国保財政問題について 2 子ども行政について	沖縄戦の影響による前期高齢者の低割合に伴い、本市のみならず、県内市町村の国保財政の悪化が深刻化している (1) 本市国保財政の赤字額はどのように推移しているのか (2) 国や県に対してどのような取り組みを図っているか 子ども行政の在り方について以下伺う (1) 城間市長の平成 27 年度施政方針において、「待機児童解消の施策を含む子ども政策分野の充実事業」においても重点的に予算を計上するとある ① 子ども政策分野の充実事業とは具体的にどのような事業に取り組むのか ② 前年度と比較して、予算額はどのように反映されているか (2) 本市公立幼稚園を活用した「認定こども園」について以下伺う ① 当局の具体的な取り組み及び見解について伺う ② 保護者の要望が多い給食実施は実現できるのか (3) 「放課後こども総合プラン」に伴う児童クラブへの学校施設開放について以下伺う ① 児童クラブの学校施設への設置校、また未設置校はどのような状況か ② 具体的にどのような年次計画になっているのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 離島航空路線のあり方について	スカイマーク経営破たんによる影響で、本県離島航空路線にも深刻な影響が懸念される 「那覇―宮古」、「那覇―石垣」路線の廃止においても本市経済や人的交流等にも悪影響を及ぼすことになる 本市も関わる先島地区へのスカイマーク社の運航継続、また本市とを結ぶ離島航空路線の低運賃の確保について城間市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	中 村 圭 介 (無所属の会)	1 市長の施政方針について	(1) 協働の仕組みの完成とは、どのような状態を想定した表現なのか見解を伺う (2) 自立した活動を中心とした、新たなステージへと発展させなければならないとあるが、現状をどのようなステージだと認識しているのか。また、自立した活動を中心とした協働とはどのようなものか、見解を伺う
		2 協働によるまちづくりについて	(1) 市民と協働した事業を評価するための仕組みはどのようなになっているのか (2) 予算要求から市民と共に事業を進めていく事業提案制度の導入について本市の見解を問う
		【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長	

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	前 泊 美 紀 (無所属の会)	1 協働によるまちづくりについて 2 ファシリティマネジメントについて	(1) 那覇市は、小学校区コミュニティモデル事業を平成 22 年度から実施し、同事業の中で、与儀、石嶺、若狭、銘苅の 4 小学校区でまちづくり協議会が設立した。その検証の結果、「地域課題への対応等に一定の効果があると評価できる」とし、平成 27 年度から「校区まちづくり協議会支援事業」を予算計上している ① 各校区での成果など検証結果の詳細と課題 ② 予算の内訳と今後の取り組み (2) 那覇市では、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的とした「学校支援地域本部事業」を平成 20 年度から 22 年度まで実施している ① 同事業の成果と課題、評価 ② 同事業を廃止した理由 (3) 学校支援地域本部事業と校区まちづくり協議会の違い (4) 地域運営学校（コミュニティ・スクール）について、市の見解を問う 那覇市では、次世代に負担を残さない公共施設のあり方についての基本的な方針や取り組みを整理した「那覇市ファシリティマネジメント推進方針（案）」を策定し、現在、市民の意見（パブリックコメント）を募集している 同案によると、この方針は、総務省が各地方自治体に求めている公共施設等総合管理計画として位置づけられ、今後、施設を保有する課における「個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）」の策定が必要となる

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(1) 今後の具体的な取り組みとスケジュール (2) パブリックコメントの応募状況と、市民との合意形成の図り方についての見解
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
11	清 水 磨 男 (なは民主)	1 子育て、教育について 2 防災、防犯について 3 市長の政治姿勢について 4 行財政改革について	(1) 道徳の授業を評価制度の対象とすることに対する考え方を伺う (2) 幼稚園の過去 5 年の教諭の人数の推移について伺う (3) 母子手帳の電子化について伺う (4) 特別養子縁組に対する考え方や施策について伺う (1) 消防団員の定員根拠、また国籍についての取り扱いについて伺う (2) 救急相談、小児救急相談については、現状どのような取り組みか伺う (3) ジョギングパトロールといった取り組みについて伺う (1) 性同一性障害や同性愛者というようなセクシャルマイノリティの問題は、人権問題と捉えて取り組みや施策が必要と考えるか伺う (2) 介護報酬の引き下げが予定されるが、那覇市にどのような影響が予想されるか伺う (3) 返還合意から 41 年が経過する那覇軍港の返還問題に対する姿勢を伺う (1) 指定管理や民間委託については、積極的に推進する立場にあるのか伺う (2) 国の出先機関や独立行政法人の体制や機能について、那覇市として充実を求めるものであるのか、地域主権の立場から縮小を求めるものであるのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
12	花 城 正 樹 (なは民主)	1 学力向上について 2 部活動について 3 病休の教員について 4 地域連携、福祉拡充との関係について	(1) 県教育行政幹部が協議する「学力向上推進本部会議」では、学力向上の指針をまとめた。内容を伺う (2) 提言を受け、公立小中学校ではどのような取り組みがなされているのか。また、新年度予算にどのように反映されているのか伺う (1) 放課後のスポーツ活動や文化活動に割く時間は、週単位でどの程度か (2) 週末の練習試合や大会の引率は上記時間に含まれるか (3) 全国平均との比較について (4) 部活を指導する教師は終了後、夜遅くまで翌日の準備等に追われるとの情報があるが、現状を伺う (1) 精神疾患による休職者数の推移(過去 3 年)を伺う (2) 復職に向けた取り組みについて 学力テスト 1 位の福井県では、貧困手前のサインを見つけるため、学校と地域が連携をとって様々な取り組みをしている。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（2日目） 平成27年2月23日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
13	上 原 快 佐 (社 大 党)	介護福祉行政 について	(1) 本市の特養待機者数の推移及び類似都市との比較について伺う (2) 社会福祉審議会設置の意義と役割について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（２日目） 平成 27 年 2 月 23 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
14	平 良 識 子 (社 大 党)	1 市長の政治姿勢について 2 大型M I C E 施設の誘致について 3 新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）の建設計画について	沖縄県民は、昨年行われた名護市長選挙をはじめとし、知事選挙、那覇市長選挙、衆議院選挙等においても、辺野古に新基地はつくらせないという答えを明確に示した。したがって安倍政権は、沖縄県民の民意と選挙結果を真摯に受け止め、新基地建設を中止するべきである。しかしながら安倍首相は、沖縄県民の代表である翁長知事との面会を拒絶し、沖縄県民の民意を無視し、辺野古の海へ数トン級ブロックを沈め、サンゴ等の自然を破壊しながら新基地建設を強行している。市長の見解を伺う 沖縄県が建設を予定している大型M I C E 施設的那覇軍港への誘致について、本市の取り組み状況及び地主会の動向を伺う 久茂地小学校跡地における新文化芸術発信拠点施設（新市民会館）の建設計画について、以下伺う (1) 建設費及びそれ以外にかかる概算事業費について (2) 基本計画による今後の課題について (3) 当該地の活用について、自治会及び地域住民との意見交換、合意形成プロセスはどうなっているか。また今後、自治会及び地域住民との協働の取り組みをどう図り、建設計画及び周辺環境整備にどう反映させていくのか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 待機児童解消について	待機児童解消策として、那覇市の公立幼稚園を、①公設公営の認定こども園、②公設民営の認定こども園、③公立幼稚園と園の空き教室を活用した認可保育所分園の併設、④現状の公立幼稚園、のいずれかで 2016 年度より順次移行している。メリット、デメリット、今後の課題とその対応について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長